

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 113-8602
住 所 東京都文京区千駄木1-1-5
氏 名 学校法人 日本医科大学
理 事 長 坂本 篤裕
(代理人) 武蔵小杉病院 院長 田島 廣之
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 9 条第 1 項（同条第 4 項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	学校法人 日本医科大学		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 中原区小杉町1丁目396番地		
該当する事業 者の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	一般病院		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量	2,273	k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂

(第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

1. 事業者全体基本方針

- (1) エネルギー使用合理化に関する法律の中長期計画に基づき、計画期間内に全ての対策を実施する。
- (2) 廃棄物の発生抑制及びリサイクルを通して、社員の環境に対する意識向上を積極的に推し進める。
- (3) 建替・更新計画においては地球温暖化対策を十分に考慮し実施する。

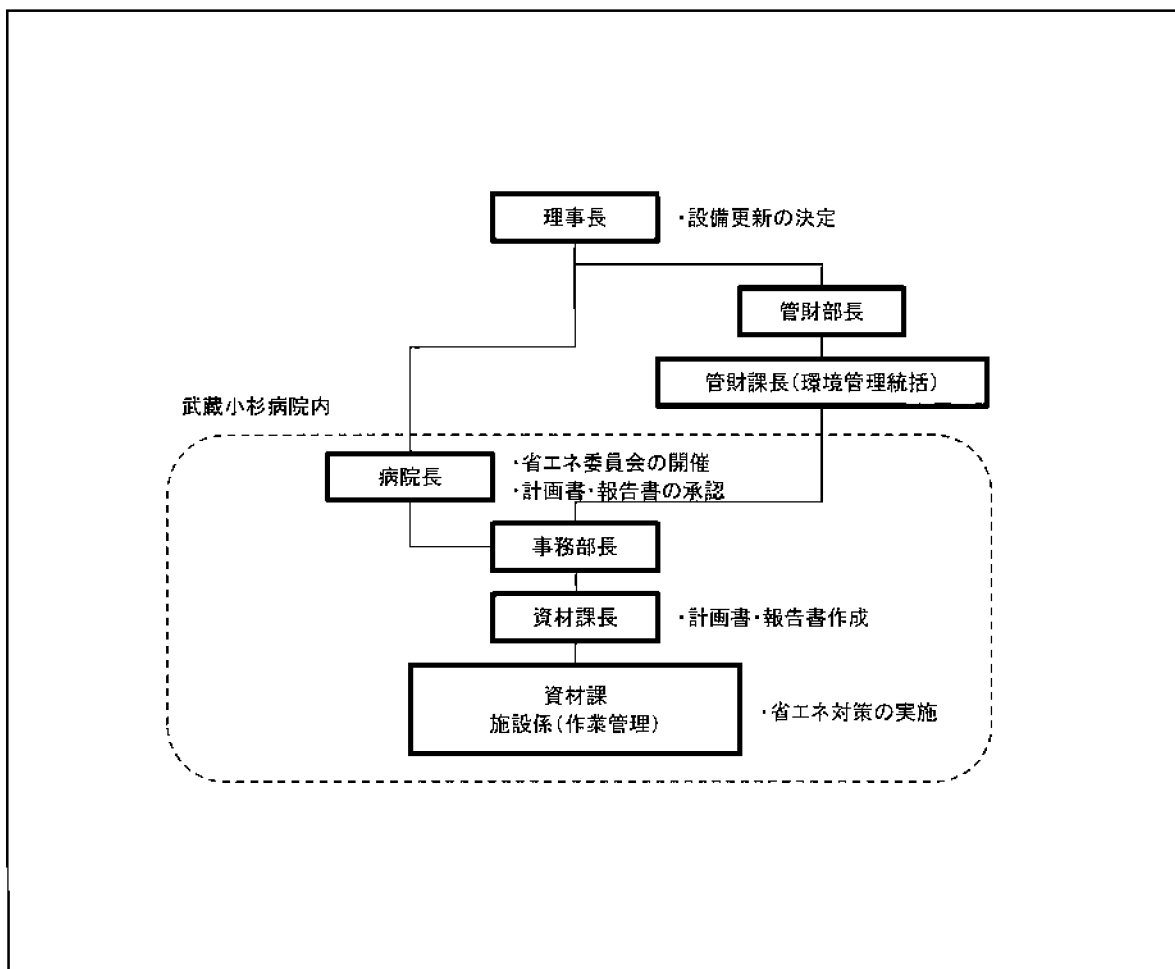
2. 市内事業所方針

事業者全体方針に準じて行動する。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

- ・事業者全体方針に基づき、事業所の省エネ会議で省エネおよび排出量削減の目標設定を行い、年度計画を策定する。
 - ・年度計画の実施項目の進捗管理とエネルギー使用量および排出量の実績管理を資材課で行い、予算管理も含めて運転・設備保全上での省エネ課題を整理し、年度計画の見直しを行う。
 - ・省エネ会議で省エネおよび排出量削減効果の検証を行い、その評価を行う。また、その評価は年度計画に反映する。
- 以上の基本方針により、PDCAサイクルを実行・管理する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



指針様式第 1 号

(第 2 面)

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
基 準 年 度		2018		年度	
目 標 年 度		2021		年度	
基 準 排 出 量	(実)	4,320	(実)	(実)	
	(調)	4,224 t-CO ₂	(調)	(調)	t-CO ₂
目 標 排 出 量	(実)	4,307	(実)	(実)	
	(調)	4,211 t-CO ₂	(調)	(調)	t-CO ₂
削 減 量	(実)	13 t-CO ₂	(実)	(実)	t-CO ₂
内 訳	対策実施による削減量	(実)	13 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
削 減 率	(実)	0.3 %	(実)	(実)	%

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
原 単 位 等 の 活 動 量			
原 単 位 の 単 位			
基 準 年 度 の 値			
目 標 年 度 の 値			
削 減 率		%	%

ウ 目標設定に関する説明

本学はエネルギーの使用の合理化に関する法律における特定事業者であり、川崎市内においても武蔵小杉病院は第二種管理指定工場となっている。 現在のエネルギー消費機器は老朽化が進み省エネの余地が残されているが、建て替え計画があるため大規模な改修ができない状況にある。従って、費用回収年数の短い省エネ改修や故障対応による機器更新等に限定されるため、目標削減率を0.3%とした。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容（別表第 1 から 6 等を参考に記載してください。）

計 画	(1)定例の省エネ対策会議を開催し、専門業者の協力を得て設置するとともに、責任者の明確化、マニュアル類の整備を図る。 (2)主要設備の管理マニュアルを整備し、点検管理の徹底を図る。 (3)BEMS装置等を活用し、エネルギーデータの詳細把握を図る。 (4)医療に直接かかわらない管理部門等のエリアの空調温度設定の緩和を徹底する。 (5)更新機器について随時トップランナー機器へ置き換える。 (6)更新を実施する照明装置はHf蛍光灯、LED等の省エネ型およびセンサ等を利用した器具を採用する。 (7)複写機、電子計算機について随時トップランナー機器へ置き換える。	
第 1 年度		
第 2 年度		
第 3 年度		
計画期間における取組の評価 (第 3 年度の報告時に記載)		

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

(平成21年度実施) A 館冷暖房用熱源機器を ガス焚冷温水発生機より高効率電気HPチラーに変更 (平成24年度実施) トイレ・廊下における照明の一部をLEDや人感センサーを採用し高効率化 (平成25年度実施) C 館のエアコンを更新 (平成27年度実施) ベッドランプをLEDへ更新 (平成28～30年度実施) 設備更新の際、LED照明 1 3 件、省エネ法特定機器 2 2 件、トップランナー機器 1 7 件採用

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検 討 結 果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	○
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

5 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	寄与する措置に係る事項は無し
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	(1) 武蔵小杉病院は第二種管理指定工場に指定されており、同法に基づく管理、報告を徹底する。中長期計画等は本部とも連携して作成する。 (2) 発生する廃棄物は、医療廃棄物、一般廃棄物（個別分類）等に厳格に分類し、可能なものはリサイクルし、廃棄物総量の抑制に努める。 (3) 武蔵小杉病院は敷地内に樹木、植栽を豊かに有し、その維持管理についても徹底する。 (4) 武蔵小杉病院は駅至近であり交通の便も優れるため、夜勤者等を除いて、病院職員の公共交通機関での通勤を徹底する。
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	4,320	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

2,273	K L
-------	-----

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等单位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
日本医科大学武蔵小杉病院	川崎市中原区小杉町1-396	4,320 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂